

## シーカメント®1200N

### 超高強度コンクリート用混和剤

**概要** シーカメント®1200Nはシーカのポリカルボン酸系ニューポリマーを主成分とする超高強度コンクリート用混和剤です。シーカメント®1200Nを使用することで設計基準強度100N/mm<sup>2</sup>以上のコンクリートが製造できます。超高強度コンクリートでも粘性が低く、RC構造の高層建造物や超高強度鋼管コンクリートが実現します。

**用途**

- 超高強度RC構造物
- 超高強度鋼管コンクリート
- 超高強度プレキャストコンクリート
- 超高強度を必要とするコンクリート

**特長**

- 水結合材比25～15%程度までのコンクリートの製造が可能です。
- コンクリートの経時変化が小さく、コンクリートの扱いが容易です。
- 水結合材比が小さくてもコンクリートの粘性が低く、ポンプ圧送やコンクリートの打設が容易です。
- 繊維を混入した場合でも空気量が大幅に増加することはありません。
- 無塩化タイプです。

**規格** JIS A 6204 高性能減水剤(I種)

#### 主成分および物性

主成分	外観	密度 (g/cm <sup>3</sup> )	塩化物イオン(Cl <sup>-</sup> )量 (%)	全アルカリ量 (%)
ポリカルボン酸系化合物	黄褐色液体	1.070～ 1.090	0.01	1.8

塩化物イオン量および全アルカリ量は分析値例

**使用量および使用方法**

- ・使用する結合材質量に対して1.0～5.0%の範囲で、目標とする単位水量、スランプフローが得られるように、あらかじめ試験練りによって確認して下さい。
- ・通常のAE減水剤と同様に練混ぜ水に混合して使用するか、または混和剤を分割して添加します。
- ・混和剤の使用量が多い場合、混和剤の固形分による単位水量の補正を行う場合もあります。
- ・コンクリートの空気量が過多の場合はシーカの消泡剤を併用して下さい。

**保存期間** 缶の場合未開封で直射日光を避け冷暗所に保管して6カ月

**荷姿** タンクローリー、18kg缶(缶は受注生産)



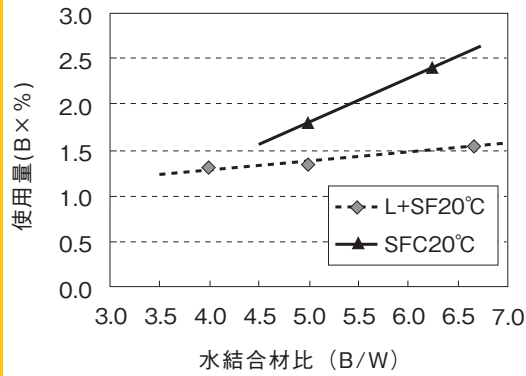
## 性能

目標スランプフロー：65±5cm

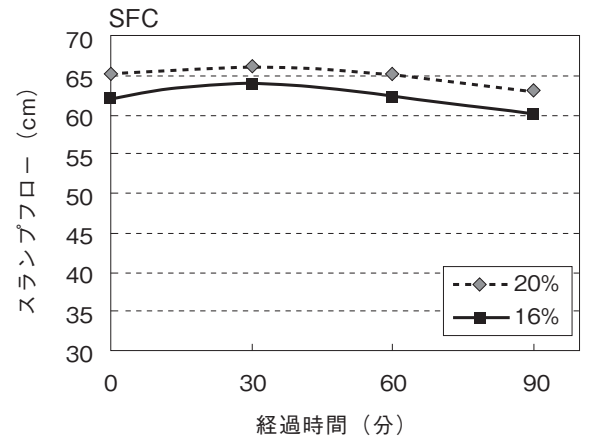
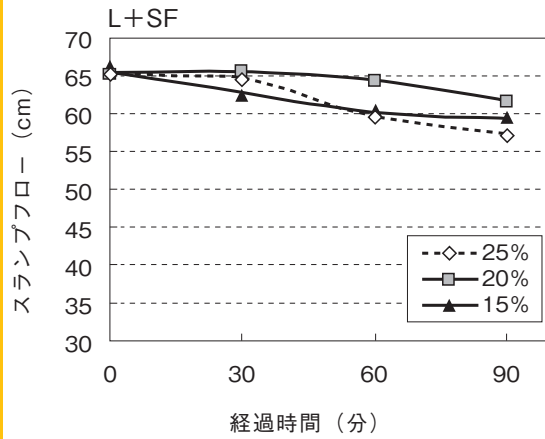
単位水量：低熱セメント(L)+10%シリカフェーム(SF) 150kg/m<sup>3</sup>  
 シリカフェームセメント(SFC) 140kg/m<sup>3</sup>

使用骨材：硬質砂岩、陸砂

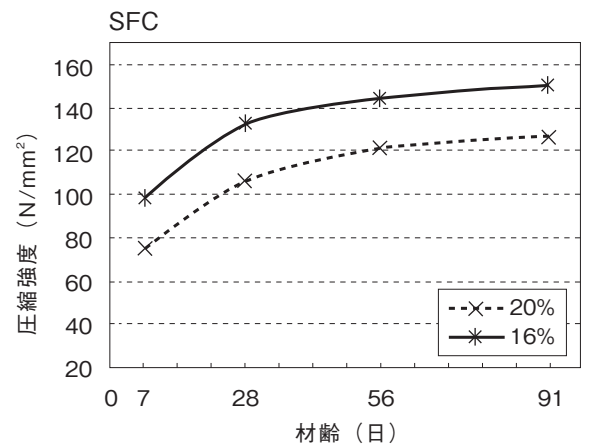
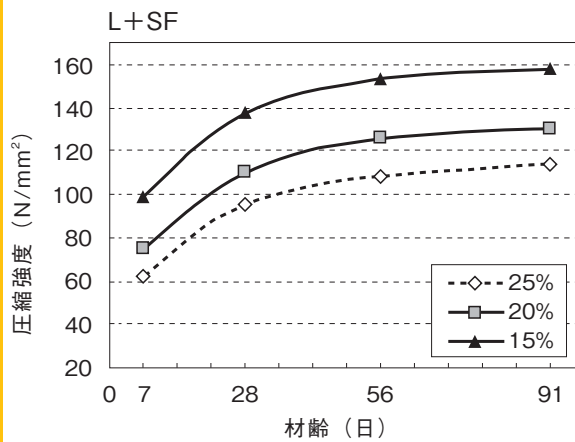
### 結合材水比と使用量の関係(20°C)



### 経時変化(20°C)



### 圧縮強度(20°C)



JIS A 6204 高性能減水剤規格による試験

品質項目		規格値	シーカメント®1200N
減水率(%)		12以上	19
凝結時間の差 (min)	始発	+90以下	+10
	終結	+90以下	+5
圧縮強度比 (%)	材齢 7日	115以上	165
	材齢 28日	110以上	144
長さ変化比(%)		110以下	95
塩化物イオン(Cl <sup>-</sup> )量(kg/m <sup>3</sup> )		0.02以下	0.00
全アルカリ量(kg/m <sup>3</sup> )		0.30以下	0.06

使用量はセメント質量に対して1.0%使用  
塩化物イオン量および全アルカリ量は、シーカメント®1200Nの分析値より算出

建設省(現:国土交通省)NewRC基準「高強度コンクリート用高性能AE減水剤の品質基準(案)」による試験結果

品質項目		高強度コンクリート用 高性能AE減水剤の規格値	シーカメント®1200N ( )内は規格値に対する適否
凝結時間の差 (時間:分)	始発	5:00~12:00	5:55(適合)
	終結	15:00以内	7:50(適合)
圧縮強度比 (%)	材齢 3日	100以上	131(適合)
	材齢 7日	100以上	127(適合)
	材齢 28日	100以上	129(適合)
長さ変化比(%)		110以下	91(適合)
凍結融解に対する抵抗性 [相対動弾性係数(%)]		85以上	101(適合)
経時変化量 (60分後)	スランプ(cm)	5.0以下	1.0(適合)
	空気量(%)	±1.5以内	0.4(適合)
塩化物イオン(Cl <sup>-</sup> )量(kg/m <sup>3</sup> )		0.02以下	0.00(適合)

使用量はセメント質量に対して1.0%使用  
塩化物イオン量は、シーカメント®1200Nの分析値より算出

## 注意

重要事項	混和剤タンク内への立入りは禁止です。
使用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・減水率、凝結時間などの性能は、コンクリートの材料(セメント、骨材など)、コンクリートの配合、温度などの条件により変わる場合があります。</li> <li>・推奨する使用量の範囲外で使用する場合は、あらかじめ試験練りを行って下さい。</li> <li>・他の異なった混和剤との混合使用は避けて下さい。</li> <li>・ナフタレン系やメラミン系の流動化剤は使用しないで下さい。</li> <li>・色は時間と共に多少変化しますが、性能上は問題ありません。</li> </ul>
取扱いおよび 応急措置	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長時間皮膚に触れたり、目や口に入らないように注意して下さい。</li> <li>・皮膚に付着した場合は水と石鹼で速やかに洗い流して下さい。目に入った場合は、直ちに15分以上大量の水で洗い流し、飲み込んだ場合は直ちに吐かせて口腔内を洗い、医師の診断を受けて下さい。</li> <li>・詳細は製品安全データシートを参照して下さい。</li> </ul>
保管	<ul style="list-style-type: none"> <li>・直射日光を避け、冷暗所で密封して凍結しないように保管して下さい。また、開封後はできるだけ早く使い切るようにし、異物が混入しないように注意して下さい。</li> <li>・凍結した場合(氷点:-2℃)は自然解凍させ、よく混合して使用して下さい。</li> </ul>
廃棄	産業廃棄物処理業者に委託して下さい。

シーカ製品の適用および使用に関する情報および勧告は、当社の最新の知識および経験に従っているものであり、通常の条件下で適切に保管、処理および適用されることを前提としております。実際には材料、配合および現場の条件がそれぞれ異なるため、ここに記載されている情報、書面での勧告、その他のアドバイスは、商品性や特定目的への適合性について保証するものではなく、また、法的関係から生ずる責任をもたらすものでもありません。ユーザーは、シーカ製品がユーザーの使用目的および施工方法に適しているかをあらかじめ確認して下さい。当社は、製品の特性を変更する権利を留保します。第三者の権利は尊重されなければなりません。すべての注文は、当社の最新の販売・納品条件に従って受注されます。ユーザーは常に使用する製品のプロダクトデータシートの最新版に留意して下さい。プロダクトデータシートの最新版はご請求いただければ当社が提供いたします。著作権法により無断複写複製及び無断転載は禁止されています。



日本シーカ株式会社  
 コンクリート用建設資材本部  
 〒108-6110 東京都港区港南2-15-2品川インターシティB棟10F  
 TEL03-6433-2311 FAX03-6433-2102  
<http://www.sika-japan.co.jp/>

